

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	コミュニティやわらぎ		
○保護者評価実施期間	令和 7年 10月 16日		～ 令和 7年 11月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和 7年 10月 16日		～ 令和 7年 11月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 12月 11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同一施設内にB型就労事業所がある為、中高生の職場体験の場として活用できている。	中学生は月に1回、高校生は月に2回、職場体験をカリキュラムに入れている。報酬として、1回1コインを渡し、貯めて100均で好きな物を購入している。	職場体験の内容を、無理のない範囲でスキルアップしていく。
2	保護者から高い満足度の評価を頂いている。	送迎時のやりとりを通して、子どもの様子を伝えている。子どもや家庭についての情報を職員間で共有して、支援に繋げている。	保護者が気軽に話せる機会を意識的に作る。
3	児童が過ごしやすいように、絵カードやスケジュール表を使用して、視覚支援の環境を整えている。	約束カードや気持ちカード、スケジュール表やタイムタイマーなど、特性に応じて視覚支援を用い、見通しを持って行動できるようにしている。	子どもの年齢や特性に合わせて、内容を適宜検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各マニュアルの周知ができていない。	各マニュアルの作成はしてあるが、保護者へ向けて周知が出来ていない。	ホームページに掲載する等、保護者と共有し連携を図っていただけるような周知方法を検討していく。
2	事業所についてのPR力が弱い。	法人全体のホームページに事業所の掲載はあるが、活動の様子はお便りで利用者には分からない。	インスタグラムなどのSNSを通して発信する等、検討していく。
3	放課後児童クラブや児童館との交流の機会がない。	平日は下校時間がまちまちなので時間的に難しく、慣れない場での交流は、負担に感じる子どもも居る。	長期休暇中に、近隣の児童館や児童クラブに働きかけてみる。まずは少人数で見学させて頂く等、短時間から検討してみる。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		コミュニティやわらぎ				公表日 令和 8年 1月 20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0				
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	・日により、利用人数が多かったり、手のかかる子が多い場合人手の不足を感じる	送迎が重なる時や個別支援が必要な時には、人手不足を感じることもあるので、次年度に向けて検討中です。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・音が響きやすいため、改善の為検討中	学習室の床にマットを敷くなどして、防音効果を試しています。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	・個別対応が必要な時は、食堂等を使用 ・独自の部屋がなく、場所の確保が難しいため、ほか事業所の部屋を借りている	クールダウンや、落ち着いた環境が必要だと感じた時には、同建物の他の部屋を利用していますが、逆に刺激になってしまう事もあります。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		専門家に実際の支援を見て頂き、評価や助言を受けるなどしています。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0				
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0				
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		問題行動に対して、氷山モデルを用いたりし、水面下にある根本的な原因を探るなどしています。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・毎週ミーティングを開催し話し合われている	内容等、意見を出し合い、全職員で話し合っ て決めています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・毎週ミーティングを開催し意見を出し合っている	同じ活動でマンネリ化しないよう、常にアンテナを立て、新しい活動を取り入れるようにしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	・毎週のミーティングにより、振り返りを行っている	都合によっては、毎日振り返りが出来ないこともあるので、ミーティングで振り返りを行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	・まだそういったケースがない	今年度、初めてのケースとなるので、情報共有をし、次のサービスへ繋げていきたいです。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0		地域障がい児支援体制強化事業の一環として、専門家に支援を見て頂き、スーパーバイズコンサルテーションを行いました。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	・やわらぎ祭りで地域の子ども達と交流をしている。	やわらぎ祭りで地域と子どもたちを招いたり、CoCoロボと行事で交流する機会はあるが、今後も慣れた場所で交流できる機会を増やしていきたいです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2		参加するのは難しい為、ホームページで会議録を確認するようにしています。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	・外部講師を招き、家族向け講演会を開いている ・保護者対象にヨガ教室を開催した。	今後も家族が参加できる行事を開催していきたいと思います。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0			
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	・特に相談なし	半年に一度のカンファレンスの場で、子育てについての悩みや困りごとについても相談頂いています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1		保護者向け（ヨガ教室）や家族向けの行事（スポーツフェスティバル）を開催し、保護者同士やきょうだい同士で交流する機会を設けています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	・祭り ・やわらぎ祭り	やわらぎ祭りを開催し、地域の住民を招待して法人のこを知って頂き、地域に開かれた施設になるように努めています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・各マニュアルを作成し、発生を想定した訓練を実施している。	有事の際、学校からの非常連絡があった場合の対応について、保護者が放デイどちらが迎えに行くのか課題であり、保護者の就労割合もあり引き渡し訓練は行っていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	・年度の途中で変更があった場合について情報が無いときがある	服薬の薬が変わった時点で、お知らせ頂いています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		2カ月に1回行う避難訓練の様子をおたよりに載せたりして周知しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0			